

4. 行財政改革の状況についての報告

官民連携（PPP）手法の活用状況			
年度	施設(事務事業名)	見直し内容	見直しに伴う職員の増減
R3	大黒保育園	民間委託	保育士等△6人
R3	佐世保市博物館島瀬美術センター	指定管理者制度の導入	事務職員△3人
R2	中央公園整備及び管理運営事業	PFIによる公共施設整備	-
R2	西部クリーンセンター	民間委託(DBO方式の導入)	技術職員△8人、現場職員△16人
R1	佐世保市立学校空調施設整備事業	民間委託(DB方式の導入)	-
R1	島瀬駐車場	指定管理者制度の導入	職員増減なし
H29	旧花園中学校跡地活用事業	公的不動産の有効活用	-
H29	卸売市場(4市場)	指定管理者制度の導入	事務職員△5人、技術職員△1人、嘱託等△5人
H28	証明書受付交付窓口及び郵送請求業務	民間委託[H29.2.1～]	事務職員△4人、嘱託等△1人
H28	道の駅させぼつくす99	管理運営業務委託	職員増減なし
H27	九十九島動植物園「森きらら」	指定管理者制度の導入	事務職員△2人、技術職員△8人
H26	福祉活動プラザ	指定管理者制度の導入	職員増減なし
H26	市営住宅の管理・運営の一部業務	指定管理者制度の導入	事務職員△3人、嘱託等△6人
H25	佐世保市学校給食センター	民間委託	事務職員1人
H25	クリーンピュアとどろきの運転業務	民間委託	現業職員△4人
H25	地域包括支援センター	民間委託	事務職員△1人、保健師△8人、嘱託等△46人
H24	競輪事業の開催業務等包括委託の導入	民間委託	事務職員△5人、嘱託等△7人
H24	家庭系2段階有料化制度の一部事業	民間委託	事務職員△1人、嘱託等△2人
	H24～R3 合計		事務職員：△23人 技術職員：△17人 保育士等：△6人 保健師：△8人 現業職員：△20人 嘱託等：△67人

改正地方自治法による指定管理者制度の導入

公の施設の管理運営を市以外の外部団体等に委託する場合は、これまでは、公共性の確保の観点から、地方自治法により公共的団体等に限られていました（管理委託制度）が、地方自治法の一部を改正する法律が平成15年9月2日から施行され、民間事業者にも管理運営を委ねられる指定管理者制度が設けられました。これにより、管理委託をしている公の施設については、平成18年9月1日までに指定管理者制度に移行することとなりました。

未来のため 将来の夢
現在からのこと 一緒に考えませんか？

市岡ひろみちプロフィール

昭和26年3月23日 佐世保市生まれ
潮見小学校、山澄中学校、佐世保南高校に学び、オーストラリア留学。武蔵大学卒業。
経歴 昭和58年 佐世保市議会議員当選
以降10期当選
平成9年第34代・平成27年第43代・平成29年第44代議長就任
現在 自民党佐世保支部総務 相談役
(一財)佐世保自由民主会館 理事長
市議会防衛議員連盟 会長
潮見町公民館 顧問
福石観音奉賛会 名誉会長
佐世保市食品衛生協会 顧問





新たに後援会に入会していただける方のご紹介をお願いいたします。
入会申込は下記連絡先にFAXを頂くか左QRコードからホームページに進み登録をお願いいたします。

市岡ひろみち事務所

〒857-0834

佐世保市潮見町 1-30-507

TEL・FAX (0956) 31 - 5464



市岡ひろみち後援会報
2022年秋季号

市岡ひろみち後援会
〒857-0834
佐世保市潮見町 1-30-507
TEL&FAX 0956-31-5464

市岡ひろみち後援会だより

令和4年秋季号

ひと、輝く街『佐世保』を目指して。

1. ご挨拶
2. 今後取組む課題
3. 今期に市議会定例会本会議で取上げた、一般質問など
4. 行財政改革の状況についての報告



1. ご挨拶
後援会の皆様には佐世保市議会議員 市岡博道の活動に対しまして、日頃より深いご理解と温かい御支持、御支援を賜り心より感謝申し上げます。
昭和58年の初当選以降、連続10期の39年間、佐世保市のために解決すべき様々な課題に取り組んでまいりました。平成9年度には第34代、平成27年度から平成30年度には第43・44代佐世保市議会議長を歴任させていただきました。朝長則男市長と共に継続して議長として諸問題に取り組ませていただいたことは、課題を解決へと大きく前進させることができたと自負するところであります。
『継続は力』と言われる。佐世保市は今、大きな変革期に差し掛かっています。今後も培ってきた様々な人脈を力に変え、“ひと、輝く街『佐世保』”の実現のため残された課題、新たな課題に取り組み、果敢に挑戦してまいります。
今回の後援会報では、今期に佐世保市議会において取り組んできた内容を振り返ります。
結びになりますが、皆様のご健勝を祈念いたしますとともに、ご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

佐世保市議会議員 市岡博道



2. 今後取組む課題

福祉・教育対策

- ・高齢者支援の充実
- ・公的介護保険制度の推進
- ・不登校児対策
- ・市民の体力維持・向上対策（健康寿命対策）
- ・食育対策
- ・高齢者・障がい者対策
- ・保育行政の充実
- ・学校施設再編
- ・医学部及び附属病院の誘致

市民生活

- ・災害に強いまちづくりの強化
- ・消防団の充実・強化
- ・医療従事者の安定的な確保
- ・自治協議会の活性化

産業基盤整備

- ・防衛施設工事の地元優先発注の働きかけ
- ・未利用国有地及び予定地の有効活用
- ・観光客誘致促進
- ・水源確保による企業誘致促進・基地関連異業種交流と新しい産業育成
- ・IR(統合型リゾート)実現による産業活性化

都市資源整備

- ・石木ダム早期完成等、水源確保の体制づくり
- ・下水道事業の促進体制づくり
- ・環境行政の促進
- ・観光資源活用の促進
- ・国道35号線・都市計画事業の促進
- ・名切地区再整備の促進
- ・JR佐世保線・MR路線の維持、強化
- ・港湾を活用した物流の活性化
- ・市街地再開発事業の積極的推進

行政改革

- ・政策自治体としての体制づくり
- ・行政評価システムの整備
- ・指定管理者制度の促進
- ・財政健全化の促進
- ・中核市としての連携中枢事業促進

基地対策

- ・佐世保港のすみ分け促進
- ・公共岸壁の増強
- ・前畑弾薬庫移転返還事業の促進
- ・市道前畑崎辺線事業の促進
- ・崎辺地区における防衛機能充実の促進

今期に市議会定例会本会議で取上げた、一般質問など

令和4年9月定例会 本会議 一般質問(2022/9/9)

- 1. 市内における主な交通網の課題
 - JR佐世保線の今後 ➡ ①
 - OMR（松浦鉄道）の今後 ➡ ②
 - 都市計画道路佐世保縦貫線の今後 ➡ ③
- 2. 新型コロナの感染拡大下における市内各業種への影響把握
 - 行政各部署においての把握状況について

① JR 佐世保線の今後
Q：市として県に対し佐世保線の輸送改善、取り巻く環境の変化を踏まえてより強く申出をしていただきたい。
A.朝長市長：九州新幹線長崎ルートを整備に関する基本的な考え方の中で、将来、長崎市ー福岡市間にフル規格の新幹線が運行されるようになったときは、佐世保市にもフル規格新幹線鉄道網への直通運行が可能となるよう、その実現に努めることがうたわれており、本市としても、議会や経済界等の御意見を賜りながら、今後の方向性について検討を深めたい。武雄温泉ー佐世保間を含めた並行在来線問題について一体的なものとして取り扱うよう要望を継続している。JR 佐世保線の輸送改善の方向性や並行在来線問題について、今のうちから長崎・佐賀両県での協議を深めていくよう長崎県に対し強く求めてまいりたい。

② MR(松浦鉄道)の今後
Q：厳しい経営環境の変化、維持費増と、まさに喫緊の議論が求められている。提案として、議論の場を佐賀・長崎両県主導で開いていただくことを協議会で意思統一をしていただき、両県に申入れをしていくことを進めてみてはどうか。
A.朝長市長：長崎・佐賀両県及び沿線の4市2町の計8自治体で構成された松浦鉄道自治体連絡協議会において、平成26年度から令和5年度までの10年間の整備計画に基づいた施設整備に関わる支援を行っている。来年度末で現計画が終了することから、次期施設整備計画の策定に向け、この協議会において検討を行っている。松浦鉄道の今後の在り方について、広域自治体として積極的、先導的な役割を発揮していただくよう、松浦鉄道自治体連絡協議会の中で議論し、両県に求めていくとともに、調整役として国の関与が必要となる場合には、国に対しても協力を求めてまいりたい。

③ 都市計画道路佐世保縦貫線の今後
Q：県の動きは全くスピード感が感じられない。県を動かし、早期に事業化へ向けて進めていただきたい。
A.溝口都市整備部長：都市計画道路佐世保縦貫線の今後につきまして。令和元年から令和2年にかけて、関係権利者の皆様方や地域の皆様方へ、4車線のままで右折レーンやバスベイの設置を行う局部的な対策により課題解決の必要性について御説明を行い、一定の御理解が得られたため、局部対策の検討に取り組んでいる。国、長崎県に対し、主体的な検討や説明会の開催、渋滞や交通安全対策の検討において、ハード的視点だけではなく、ソフト的視点を合わせた検討について強く要望していく。

令和4年3月定例会 本会議 一般質問(2022/3/14)

- 1. 区域区分による「まちづくり」について
 - 線引き制度の有効性
 - 良好で持続可能な都市形成を進める手法の検討
- 2. 救急・急病医療体制の維持について ➡ ④
 - 連携中枢都市圏の活用
 - アクションプランの策定

④ 救急・急病医療体制の維持について
Q：市内の医療体制は、医師の高齢化などによる医療人材不足などから、ここ数年間、二次輪番病院制度からの離脱が続いている。継続を確保しなければならない。連携中枢都市圏を活用した周辺自治体における公平な負担の在り方について、アクションプラン、ロードマップを早急に策定していただき、そのスキームを固めるべきだ。
A.野村保健福祉部長：令和4年4月から新たに、医療政策課をはじめ看護専門学校と急病診療所といった医療部門を統括する医療政策監を配置するとともに、医療政策課に職員1名を増員し、新たに施策検討を行いながら、議員御提案の救急医療をはじめとした周辺市町からの負担金の在り方につきましても、令和5年度中には基本的な考え方が示せますよう、精いっぱい努力してまいりたい。

令和3年9月定例会 本会議 一般質問(2021/9/16)

- 1. 職員の人員体制について
 - 定数管理と職員定数の考え方について
- 2. 行政体制について
 - 組織・機構の在り方について
- 3. 今後の医療体制について
 - 医療従事者の確保について
 - 医師の働き方改革の影響とその対策について
 - 広域圏を活用した医療従事者の確保の考え方について ➡ ⑤

⑤ 広域圏を活用した医療従事者の確保の考え方について
Q：西九州させば広域都市圏は大学医学部の空白地域、加えて、同規模の医療圏として唯一、医師多数区域ではありません。広域圏内各市町との協調により、広域圏内に、大学等の医療人材養成機関を設置するという考え方を共有して、活動に取り組むという考え方が成り立たないか。
A.朝長市長：国においては、医学部の定員は近年増員の見通しがないことから、新たな創設は非常に困難。今後、そういう学校法人、あるいは大学等において御希望があれば、それはまた一つの方法ではないかと思っておりますので、そういうことも含めて検討させていただければと思っております。また、その一方で広域都市圏を形成する市町が連携を深めながら将来にわたる医療体制の安定的な確保に向けて、これまでの資源の共有とともに、公平な負担の在り方を議論することが互いに共通する医療政策の課題に取り組む上で大変意義深く、重要なポイントの一つではないかと考えている。

令和2年12月定例会 本会議 一般質問(2020/12/10)

- 1. 自治体間連携による行政サービスの提供について
 - ➡ ⑥
 - 将来を見据えた基本的な行政サービスの提供について
 - 連携推進のための組織文化や組織構造について
- 2. 基地交付金について
 - 対象資産の拡大について

令和2年9月定例会 本会議 一般質問(2020/9/17)

- 1. 公有財産の管理・運用の在り方
 - 一元管理の必要性
 - 国・県の遊休資産の積極的活用
 - 財産評価委員会
- 2. 東公園（東山海軍墓地）の管理について
 - 墓石、慰霊碑、拝殿等の修復について

令和2年6月定例会 本会議 一般質問(2020/6/17)

- 1. 非常時・緊急時における行政運営の課題について
 - 市全体の状況把握（リサーチ）機能について
 - 緊急事態における財源確保策について
 - 長期戦における支援策の在り方について

令和元年6月定例会 本会議 代表質問(2019/6/20)

- 1. 人口減少社会における行政体制の整備のあり方について
 - 職員定数管理と業務見直しの相関性について
 - 行財政改革における職員の意識の変容について
- 2. 基地との共存共生について
 - 在日米軍に係る国の責任と果たすべき役割について
- 3. 教育行政について
 - 小中学校2学期制の導入及び経過の検証について
 - 今後の学期制のあり方について
- 4. 福祉行政について
 - 佐世保市地域包括支援センターの現況と課題、そして、その対策について

⑥ 自治体間連携による行政サービスの提供について
Q：佐世保市は、道路にしろ、鉄道にしろ、佐賀県を通らなければ幹線につながりません。西九州自動車道の武雄南インターチェンジから佐世保大塔インターチェンジ間も今後10年間のうちには4車線化になるとは思っておりますけれども、それをなるべくでも早く、少しでも早くお願いをしたい。また、鉄道においては仮に、佐賀県内においてフル規格化の話が進めば、並行在来線として佐賀県内を通る佐世保線の存在そのものが危うくなることが懸念をされる。西九州させば広域都市圏に伊万里市、そして有田町が参加をしていただいている。一緒になって道路工事の工期の短縮、あるいは鉄道の維持に頑張ってもらうための連携した事業も、考えてみるべきではないか。
A.朝長市長：今般、2市町を含めた全国でも数少ない県境を越えた連携中枢都市圏を形成することができましたので、中心市としてリーダーシップを発揮し、新たな取組の創出など、この圏域でのさらなる連携を深めてまいりたいと考えております。
また、議員御指摘のとおり、本市を含め圏域の市町において、今は単独で維持できている取組も将来的には維持が困難になるなどの課題が顕在化してくる可能性もございます。そのようなことから、広域的かつ長期的に俯瞰した視点に立ち、必要なものを補完し合う連携の在り方について、改めて連携市町の市長、町長とのコミュニケーションを図り、検討を進めてまいりたいと思っております。

令和元年12月定例会 本会議 一般質問(2019/12/9)

- 1. 地籍調査事業について
 - 現状を踏まえた、今後の事業推進の考え方
- 2. 佐世保市立急病診療所のあり方について
 - あり方検討委員会からの答申を受けて、当局の今後に向けた考え方
- 3. 佐世保市産業支援センターの今後について
 - 設立意義を踏まえた今日までの成果
 - 今後に向けた県の役割への認識
 - 今後の産業支援センターの目指すべき姿

